



リニューアル前の生方記念文庫の庭、
ここでドイツ一行をもてなしました。

フュッセンと沼田を繋いだおもてなしの心 ／同時開催 「ドイツ食器の世界」

1995（平成7）年9月29日に、沼田市はドイツ連邦共和国のオーストリアとの国境に接するアルプス山脈の麓、ロマンチック街道の終点に位置するフュッセン市と姉妹都市になりました。

その7年前の1988（昭和63）年11月25日、日本ロマンチック街道を訪れたドイツ・バイエルン州政府観光局長らの一行は、沼田市の生方記念文庫に立ち寄り、暖かな歓迎を受けました。このおもてなしが、その後のフュッセンと沼田の結びつきの出発点であったことは知られていません。

2019.

6.7（金）



8.26（月）



マイセン ブルーオニオン飾り皿 35 cm

沼田市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンに登録され、ドイツフェンシングチーム事前合宿受入れの準備を進めています。このように、沼田市とドイツは縁が深く、ドイツ、フュッセンの事をより深く知ってもらうため、今回の企画展では、姉妹都市提携に至る経緯を紹介します。

また、同時開催「ドイツ食器の世界」では、旧東ドイツ時代のマイセンをはじめ、フツェンロイター・ビレロイ&ボッホ・ローゼンタールなど、生方たつゑの長女で料理研究家・食空間コーディネーターの生方美智子氏が所蔵するドイツ名窯の食器のなかから、一部を展示します。

生方記念文庫

〒378-0047 沼田市上之町199番地1 / TEL&FAX 0278-22-3110 / 開館時間 9:30~17:00 / 休館日 水曜日、7月16日(火)、8月13日(火) / 駐車場 有り(3台) / 観覧料 大人100円(20名以上の団体料金60円) 中学生以下は無料、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 / 主催 沼田市教育委員会

フュッセンと沼田を繋いだおもてなしの心 ／同時開催 「ドイツ食器の世界」

2019.6.7 (金)
▶8.26 (月)



ドイツ連邦共和国のバイエルン州に属するフュッセンは、面積 43.51k㎡、人口約 17,000 人の森林と湖に囲まれた美しいまちです。古代ローマ時代から交通の要衝とされ、イタリアの交易で繁栄しました。今も中世の面影を残す町並みとともに有名なノイシュバインシュタイン城など周辺の観光拠点となっています。また、リュート、バイオリンの製造地として知られています。



今回展示するドイツ食器、ビレロイ&ポツホの「バスケット」。もっとも人気のあるロングセラーパターン。新皇后雅子さまの婚礼道具のひとつであったことでも有名です。

関連行事

(1) 講演会 「姉妹都市に至る市民の活動」
講師 村松知守文さん (セラピスト)
日にち 6月22日 (土)
時間 午後2時から午後3時まで
定員 30名
場所 生方記念文庫2階展示室
参加費 無料 (但し生方記念文庫観覧料60円が必要)

(3) 講演会&ドイツコーヒータイム
「姉妹都市フュッセン市について」
ドイツコーヒーを飲みながら楽しいお話を聞きます。
講師 クリスティーン・バウアーさん (国際交流員)
コーヒー ドイツコーヒー「夢」オーナー 田村三千夢さん
日にち 7月20日 (土)
時間 午後2時から午後3時まで
定員 30名
場所 旧沼田貯蓄銀行1階営業室
参加費 400円 (生方記念文庫観覧料含む)

(2) ミニコンサート
「～ドイツのうたをお話とともに～(簡単なドイツ歌曲を歌おうコーナーもあります!)」
ソプラノ 鷹野 恵さん
伴奏 横田絵里さん
日にち 6月29日 (土)
時間 午後2時から午後3時まで
定員 30名
場所 生方記念文庫2階展示室
参加費 無料 (但し生方記念文庫観覧料60円が必要)



ソプラノ 鷹野 恵さん

(4) ワークショップ
毎年恒例!! 第4回夏休み子どもお絵描き教室
「フュッセンの町並みを描いてみよう!」
講師 小林恵美子さん (シャローム造形教室沼田教室)
日にち 8月17日 (土)
時間 午後1時から午後3時まで
対象 小中学生
定員 10名
場所 旧沼田貯蓄銀行1階営業室
参加費 500円 (材料費)



フュッセン ライエン通り

※(1)～(4)すべて予約が必要です。



【交通のご案内】

バス JR沼田駅1番バスのりば鎌田・戸倉方面 (関越交通バス)
バス停4つ目上之町 (6分) 下車
車 関越自動車道 沼田ICから車で約10分
【駐車場】 当文庫、天狗プラザをご利用下さい。

【お問い合わせ】 ☎378-0047 群馬県沼田市上之町199番地1

TEL&FAX 0278-22-3110 生方記念文庫 *生方記念文庫*